



しらかべ通信

倉敷市立倉敷東小学校

No. 3

6月16日

1年生にとって入学して、はじめての運動会。わくわく、ドキドキしながらも元気いっぱい玉入れをすることができました。思い出に残る運動会になりました。

2年生は、学年目標の「かがやき」を合言葉に取り組みました。リレーでは、走順を自分たちで考え、一生懸命走ったり友達を応援したりして「かがやきのわ」をつなぐことができました。

表現では、南の島の生き物の動きを考えたり、かっこいい踊り方を工夫したりして、曲に合わせて元気いっぱい踊ることが出来ました。



1・2年生



3・4年生

3・4年生は、「あいとしんか」を合言葉にリレーや表現に取り組みました。

3年生は、初めてのトラックリレーに挑戦し、「あいのバトン」をつなげ、最後まで走り切ることができました。

4年生は、昨年度より「進化」したバトンパスで、協力してバトンをつなぐことができました。

表現では、和気あいあいと練習してきた成果を発揮し、明るく楽しく踊りました。仲間とともに認め合い、高め合い、進化することができた運動会になりました。

倉敷東小学校には、倉敷市に4学級しかない病弱・身体虚弱特別支援学級、通称、院内学級があります。倉敷中央病院の中に教室があり、病气やけがで入院している子どもたちが入級しています。

退院して学校に戻る時のことを考えながら、教科書やドリル、テストなどを使って、みんなと同じように学習をしています。院内学級で、治療やリハビリをしながら前向きに学習している子どもたちと、一緒に頑張っていきたいと思っています。



院内学級



5年生

5年生は、リレーと倉敷の伝統ある踊りである「OH! 代官ばやし」に取り組みました。

リレーでは、最後まで全力で走りきる姿が印象的でした。代官ばやしでは、振りを大きくして動きをそろえようと練習を重ねてきました。本番では堂々と踊る姿や1組と2組の息の合った動きがとてもしっかりとよかったです。見てくれる人に最高の演技を届けたいと、精一杯表現することができました。

小学校生活最後の運動会、学年目標の「One for all All for one」を胸に日々練習をしました。リレー「Don't Stop Me Now」では、それぞれが全力を出し、仲間とともにバトンをつなぎました。表現「One for all All for one ~We Are The Champions」では、一人技やフラッグの「静」「動」を意識し、学年全員で動きや音を揃えました。

演技だけでなく他学年の競技のときには準備や応援に取り組み、会のスムーズな進行と盛り上げる役を立派に果たしました。運動会で学んだたくさんのことをこれからの生活にも生かしていきたいと思います。



6年生

「運動会へのご声援 ありがとうございます」 校長 藤野 博

ゴールデンウィーク明けから順調に練習を重ねてきましたが、なぜか運動会本番は1度ならず2度までも雨が降ってしまい、皆様には大変ご心配をおかけしました。本番では多少の雨粒も感じましたが、最後までやりきることができホッとしています。今年も多くの保護者の方に拍手・ご声援をいただきましたことに大変感謝しております。子どもたちは本番までに練習してきた成果を思う存分に発揮し、いろいろな姿を見せてくれました。男子も女子も楽しそうに踊っている姿を見ていると、なんだかこちらまでウキウキしてきました。またひとつ「くらしき作楽学校」のあしあとを残すことができました。本当にありがとうございました。

さて、先週はなかよし週間でした。放送朝会があり、その中で私は次の詩を読みました。

「思いやりのある子とは／まわりの人が悲しんでいればともに悲しみ／喜んでいいる人がいれば、その人のためにいっしょに喜べる人のことだ／思いやりのある人は／まわりの人を幸せにする／まわりの人を幸せにする人は／まわりの人によって／もっともっと幸せにされる／世界で一番幸せな人だ／だから心のやさしい、思いやりのある子に育ってほしい／それが私の祈りだ／さようなら」 井村和清著『飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ』より

これは余命少ない医師が2人の娘に宛てたものですが、誰もが我が子に願うことではないでしょうか。この思い、みなさんはどのように伝えていきますか。